

第1課 それでも神さまの家族

子どもたちが全員集まっていなくても「はじめよう」をスタートすることをおすすめします。
祈りと賛美は「はじめよう」のあとの、プログラムのどこに取り入れてもかまいません。

鉛筆リレー【ゲーム】

●材料

- ・ 鉛筆か棒 2 本
- ・ イス 2 脚

- ① 子どもたちを2つのグループに分け、イスから数メートル離れたところに並ばせます。
- ② 先頭から順に鉛筆をどちらかの人差し指の腹に乗せ、イスのところを回って次の人に鉛筆を渡します。
- ③ 途中で鉛筆を落とした人はその時点で止め、次の人の番になります。

●話し合いをしましょう

- ・ 「このゲームは、思ったより難しかったですか？ 失敗したときどう思いましたか？」
- ・ 「今日のお話には、失敗してしまった人が出てきます。その人は、一番のお友達のことを知らないと言ってしまいました。そうやって失敗した彼のことを、イエスさまは変わらず愛されました」

メッセージを一緒に言いましょう

たとえ私が神さまをがっかりさせるようなことがあっても、
神さまは「あなたは私の家族です」と言ってくださいます

第2課 もえるほのおのように

子どもたちが全員集まっていなくても「はじめよう」をスタートすることをおすすめします。
祈りと賛美は「はじめよう」のあとの、プログラムのどこに取り入れてもかまいません。

いろいろな言葉【ゲーム】

●材料

- ・ 子どもたちの数と同じ小さなカードか紙
- ① 事前に、カードに数枚ずつ「にほんご」「えいご」「かんこくご」「ちゅうごくご」といった世界の言葉を書いておきます。
 - ② 子どもたちに1枚ずつカードを配ります。
 - ③ 先生の「スタート」という号令の後、子どもたちは各自自分のカードに書いてある言葉を大きな声で言いながら部屋の中を歩き回ります。
 - ④ そして同じ言葉の人を見つけてグループを作ります。

●話し合いをしましょう

- ・ 「自分と同じ言葉のお友達を見つける前は、どんな気持ちがありましたか？」
- ・ 「自分と同じ言葉のお友達を見つけてどう思いましたか？」
- ・ 「今日は、聖霊がみんなが自分の言葉でイエスさまを知ることができるように助けてくれたこと、そしてみんなと一緒に礼拝を楽しんだことを勉強します」

メッセージを一緒に言いましょ

聖霊の神さまは、私が他の人々と

礼拝を楽しめるように助けてくださいます

第3課 家族としてかんげいします

子どもたちが全員集まっていなくても「はじめよう」をスタートすることをおすすめします。
祈りと賛美は「はじめよう」のあとの、プログラムのどこに取り入れてもかまいません。

同じ価値【ゲーム】

●材料

- ・ 同じ額の硬貨を人数分

- ① 一人一枚ずつ子どもたちに硬貨を配ります。
- ② 一番古い硬貨を持っている子どもは誰か尋ねます。子どもたちは硬貨の製造年号を調べます。
- ③ 一番新しい硬貨を持っている子どもは誰か尋ねます。
- ④ 古い硬貨と新しい硬貨どちらが価値があるか尋ねます。

●話し合いをしましょう

- ・ 「古い硬貨も新しい硬貨も同じ価値なのはなぜでしょうか？」
- ・ 「人間も硬貨と同じです。年をとった人も、若い人もいます。日に焼けた人、色白の人もいます。あちこち動き回れる人も、車椅子の人もいます。神さまはどんな人が一番価値があると思っておられるでしょうか？」
- ・ 「神さまはみんな同じだけ大切だと思っておられます。私たち全員を愛しておられるのです。神さまは、みんなに神さまの家族になってほしいと思っておられます。そして、この教室にいる一人ひとりに、神さまのことを知らない人たちを連れてきて、その人も家族にする手助けをしてほしいと思っておられます」

メッセージを一緒に言いましょ

私は、他の人たちを神さまの家族に招き入れるために
神さまの愛を伝えます

第4課 大だっ走

子どもたちが全員集まっていなくても「はじめよう」をスタートすることをおすすめします。
祈りと賛美は「はじめよう」のあとの、プログラムのどこに取り入れてもかまいません。

3人4脚【ゲーム】

●材料

- ・ 細長い布

- ① 子どもたちを3人1組にし、細長い布で足首を結び合わせます。真ん中の子どもは両足を結びつけられていることになります。
- ② 各グループに簡単な課題をしてもらいます。
例) 部屋の端まで行き、本を拾う、壁の所まで行きその場に座る
- ③ 課題が終わったら、そのままの足で元いた所に戻ってきます。

●話し合いをしましょう

- ・ 「2人のお友達とくっついているのはどんな気持ちでしたか？」
- ・ 「今のようはずっとくっついていたらどんな気持ちになりますか？」
- ・ 「今日のお話では、ペトロは牢屋の中で2人の兵隊に鎖でつながれていました。ペトロのお友達が、ペトロのために一生懸命お祈りしていました。けれどもそのお祈りが応えられると、それがあまりにも奇跡的だったので、みんなはとても信じられない気持ちになりました」

メッセージを一緒に言いましょう

私たちが互いに祈りあうとき、

神さまはその祈りをきいて答えてくださいます

第5課 新しい世界をつくられた

子どもたちが全員集まっていなくても「はじめよう」をスタートすることをおすすめします。
祈りと賛美は「はじめよう」のあとの、プログラムのどこに取り入れてもかまいません。

葉っぱの模様写し【工作】

●材料

- ・ 様々な種類の葉
- ・ 紙
- ・ クレヨン

- ① 葉、紙、クレヨン子どもたちに配ります。
- ② 葉の上に紙を置き、その上をクレヨンで軽くこすり、葉の模様を紙に浮き出させます。

●話し合いをしましょう

- ・ 「今日使った葉の木の名前がわかる人はいますか？」
- ・ 「神さまのつくられた木は、これで全種類ですか？ 他の木の名前を言える人はいますか？」
- ・ 「神さまはどうしてこんなにたくさんの種類の木をつくられたのでしょうか？」
- ・ 「神さまがこれらをつくられたのは、私たちを愛しておられるからです。今日は、神さまがどうやってこの世界をつくられたかについて、聖書には何と書いてあるかを勉強します」

メッセージを一緒に言いましょう

世界をつくってくださった神さまに感謝することは、

神さまを礼拝しているのと同じです

第6課 神さまによくにたすがた

子どもたちが全員集まっていなくても「はじめよう」をスタートすることをおすすめします。
祈りと賛美は「はじめよう」のあとの、プログラムのどこに取り入れてもかまいません。

人間をつくる【工作】

●材料

- ・ 粘土

- ① 一人ひとりに粘土を配り、人間を作るように指示します。
目鼻や髪の毛もつけて、できるだけリアルな物を作るようにします。

●話し合いをしましょう

- ・ 「作った人間に命を与えることはできますか？」
- ・ 「なぜ命を与えることができないのでしょうか？」
- ・ 「命を与えることができるのは、誰だけですか？ 神さまは人間をつくられた時、私たちを神さまと同じ形にして、命を吹き込まれました。神さまに似たものにつくっていただいたなんて、嬉しいですね。私たちをつくられた神さまを賛美するとき、私たちは特別な方法で神さまを礼拝します」

メッセージを一緒に言いましょう

私をつくり、毎日一緒にいてくださる神さまに感謝します

第7課 お祝いの日

子どもたちが全員集まっていなくても「はじめよう」をスタートすることをおすすめします。
祈りと賛美は「はじめよう」のあとの、プログラムのどこに取り入れてもかまいません。

安息日の準備【ゲーム】

- ① 教室のイスや歌の本をいつもの場所に準備しておかないで、子どもたちを迎えます。
- ② 子どもたちが集まってから、子どもたちに手伝ってもらい、部屋を準備します。

●話し合いをしましょう

- ・ 「朝、教室に来て準備ができていないのを見て、どう思いましたか？」
- ・ 「準備をしておくことはなぜ大切なのでしょう？」
- ・ 「安息日は、神さまとずっと一緒に過ごす日です。神さまにお会いする準備をしておくのは大切なことです。この特別な日のためにどのような準備をしたらいいのでしょうか？」
- ・ 「みんなの家では、安息日の準備にどのようなことをしていますか？」

メッセージを一緒に言いましょ

安息日を楽しむことは、神さまを礼拝しているのと同じです

第8課 仲が悪い兄弟

子どもたちが全員集まっていなくても「はじめよう」をスタートすることをおすすめします。
祈りと賛美は「はじめよう」のあとの、プログラムのどこに取り入れてもかまいません。

怒りの風船【ゲーム】

●材料

- ・ 人数分のふくらませた風船
- ・ マーカー

- ① ふくらませた風船を一人ひとりに渡します。
- ② 「今までに、ものすごく怒ったことはありますか？ その時、どんな顔をしていましたか？」
と言い、子どもたちに怒った顔をさせます。
- ③ 子どもたちにマーカーを渡し、自分が怒っている時の顔を風船に描かせます。
- ④ 全員の風船を皆で見た後、各自の風船に腰掛け、割ります。

●話し合いをしましょう

- ・ 「風船を割った時、どのような気持ちになりましたか？」
- ・ 「自分の風船を見てください。怒っている気持ちはどのくらい残っていますか？」
- ・ 「今日の聖書のお話では、怒ることについて皆で勉強します。神さまは私たちに、誰とでも仲良く生活してほしいと思っておられます。誰とでも仲良く生活することも、神さまを礼拝していることになります」

メッセージを一緒に言いましょ

誰とでも仲良く生活することは、
神さまを礼拝しているのと同じです

第9課 イエスさまと天に帰る

子どもたちが全員集まっていなくても「はじめよう」をスタートすることをおすすめします。
祈りと賛美は「はじめよう」のあとの、プログラムのどこに取り入れてもかまいません。

足跡に従う【ゲーム】

- ① 子どもたちを二人一組にし、教室の端に立たせます。
- ② それぞれの組は、前後に並び、後ろの人は前の人のお尻に手を当て、つかまります。
- ③ 後ろの人は、前の人にぴったりくっつき、前の人のお尻を歩くようにして、教室の端から端まで歩きます。
- ④ 前後を交代してもう一度同じように歩きます。

●話し合いをしましょう

- ・ 「前の人のお尻を歩くのは簡単でしたか？ そしてそれはなぜですか？」
- ・ 「今まで一度も行ったことのない場所に一人で行かなければならないとしたら、どのような気持ちになりますか？」
- ・ 「行き先を知っている人が一緒にいて、道を教えてくれるとしたらどうですか？」
- ・ 「私たちは天国への旅をしています。神さまは私たちに、聖書の言葉を通して神さまのお尻に従っていけるように、聖書をくださいました。今日は、神さまと一緒に歩いた男の人について学びます」

メッセージを一緒に言いましょう

毎日神さまと一緒に時間を過ごすことで、

私は神さまとお友達になれます

第10課 守られた約束

子どもたちが全員集まっていなくても「はじめよう」をスタートすることをおすすめします。
祈りと賛美は「はじめよう」のあとの、プログラムのどこに取り入れてもかまいません。

旅行の準備【ゲーム】

●材料

- ・ 小さいスーツケースか旅行かばん
- ・ 旅行に必要な物（暖かい所用と、寒い所用）

- ① 「旅行に行くことを考えてみましょう。どこに行きたいですか？」と子どもたちに尋ねます。
- ② 子どもたちに、暖かい所に行きたいか、寒い所に行きたいか尋ねます。
- ③ 子どもたちに一人ずつ前に出て来てもらい、スーツケースに入れるものを選んでいきます。

●話し合いをしましょう

- ・ 「これを選ばなかったのはなぜですか？」（子どもたちが選ばなかった物を見せながら）
- ・ 「旅行に行く時どのような準備をしますか？」
- ・ 「旅行に行く準備をしている時どのような気持ちですか？」
- ・ 「今日は最高の旅行について学びます。素晴らしいことに、私たちみんながその旅行にさそわれています。イエスキリストが私たちを天国への旅行に招待してくださいました。地上に戻ってきて私たちを連れて行って下さると約束されたのです。この旅行にはスーツケースはいりません。この旅行の準備で一番大切なのは、聖書を勉強し、祈り、神さまの望んでおられることをすることです」

メッセージを一緒に言いましょう

イエスキリストは私を愛し、いつまでも一緒に生きることを
望んでおられます

第 11 課 家族とのすばらしいさい会

子どもたちが全員集まっていなくても「はじめよう」をスタートすることをおすすめします。
祈りと賛美は「はじめよう」のあとの、プログラムのどこに取り入れてもかまいません。

いらない物【ゲーム】

●材料

- ・ 絆創膏
- ・ コート
- ・ メガネ
- ・ 鍵
- ・ 薬びん
- ・ 箱

- ① 全ての材料を箱の中に入れます。
- ② 子どもたちに前に出てきてもらい、箱から何か一つを取り出してもらいます。
- ③ 取り出した物は、天国で必要かどうか、その理由を尋ねます。
- ④ これらのやり取りを通して、天国は安全で幸せな場所であることを伝えます。

●話し合いをしましょう

- ・ 「他に、天国でいらない物を思いつきますか？」
- ・ 「天国では、泣くことも、病気になることも、死ぬこともありません。皆幸せに安心してイエスさまと一緒に生きることが出来ます。今イエスさまは、天国で私たちの暮らす場所を用意しておられます。そしてもうすぐ、私たちを迎えに来てくださいます」

メッセージを一緒に言いましょう

私は、美しい幸せな場所でイエスさまと一緒に永遠に過ごします

第12課 泳いで、登って、飛んで

子どもたちが全員集まっていなくても「はじめよう」をスタートすることをおすすめします。
祈りと賛美は「はじめよう」のあとの、プログラムのどこに取り入れてもかまいません。

いつも元気に【ゲーム】

- ① 子どもたちを全員立たせます。
- ② 子どもたちに、両腕を挙げ、教室内でできるだけ長いこと走り回るように言います。
- ③ 疲れた子どもはその場に座らせます。
- ④ 全員が疲れて座ったら、話し合いを始めます。

●話し合いをしましょう

- ・ 「疲れた人はいますか？」
- ・ 「疲れるまでにどのくらいの間走ることができましたか？」
- ・ 「疲れないで100キロ走ってみたい人はいますか？」
- ・ 「天国に行くと、今はできないたくさんことができるようになります。そして絶対に疲れることはありません。今イエスさまは、私たちが楽しむことができる素晴らしいものをたくさん用意してくださっています」

メッセージを一緒に言いましょう

神さまは、私が永遠に楽しめる素晴らしいものを
用意してくださっています

第 13 課 イエスさまをさんびしよう！

子どもたちが全員集まっていなくても「はじめよう」をスタートすることをおすすめします。
祈りと賛美は「はじめよう」のあとの、プログラムのどこに取り入れてもかまいません。

大喝采【ゲーム】

- ① 子どもたちを立たせて輪になります。
- ② 1 人ずつ輪の中心に立たせ、周りの子どもたちは、中心にいる子どものことを 10 秒間褒めたたえます。
- ③ 全員に順番が回るまで繰り返します。

●話し合いをしましょう

- ・ 「友達のことを褒めるのと、自分が褒められるのとどちらが良かったですか？」
- ・ 「皆に褒められた時、どのように感じましたか？」
- ・ 「神さまは、私たちが褒めたたえる時どのように感じられると思いますか？」
- ・ 「天国では、見たこともないほどのたくさんの人と一緒に大きなコワイヤーをつくります。そのコワイヤーには世界中の人々がいて、神さまを賛美する特別な歌を歌います。それはとても幸せなことです。でも、神さまのことを賛美するのに、天国に行くまで待つ必要はありません。今でも、神さまのことを賛美することができるのです」

メッセージを一緒に言いましょ

私は今日も、そして天国に入るときも、
神さまに賛美の歌をささげます